

牧草のアンモニア処理の取扱いについて

（平成4年6月22日）
4 - 2

畜産局流通飼料課長・自給飼料課長

粗飼料のアンモニア処理については、麦稈等低質粗飼料の有効利用を図る技術として、近年、地域的に普及しつつある。また、当該技術は、牧草についても乾燥不良なもののかび防止効果や雨に当たった場合の栄養性の向上等が確認されており、一部地域では実用に供されている。

しかしながら、海外文献等によれば、早刈り牧草等糖含量の高い牧草を高濃度、高温下でアンモニア処理した場合、当該処理牧草を多量に摂取した家畜等が神経症状を起こす場合のあることが実験的に示されている。

このため、その原因等が明らかになるまで、当面、牧草のアンモニア処理は差し控えることが適当と考えられるので、貴局管内各県に対しその旨指導されたい。